令和元年第２回定例会
議案説明資料

資料 6

議題６　千葉市乳牛育成牧場設置管理条例の廃止について（報告）

１　趣旨

千葉市乳牛育成牧場は、酪農の健全な発展を図るとともに市民の休養に資するための公の施設であるが、令和２年４月１日から民間活力を導入し観光拠点として整備するため、条例を廃止する。

２　公の施設の廃止理由

（１）公の施設としての必要性の低下

市内酪農家・子牛頭数は現在 28 戸・377 頭だが、そのうち、市が預託を受入している酪農家は 13 戸・69 頭であり、今後、後継者不足等により 10 年後には 7 戸・42 頭に半減する見込みである。

また、家畜伝染病防疫の観点から、一般公開は行っておらず、見学者については限定的な受入のみとしている。

（２）市の財政的負担の増大

開設後 50 年以上を経過しており、今後、老朽化した設備の更新や施設の大規模改修の発生が見込まれる。

【試算】

・設備更新、施設改修費　約 1 億 7,900 万円
・指定管理費　年間 約 3,800 万円

（３）民間活力の導入

民間活力を導入し、観光誘客による地域経済の活性化やにぎわいの創出を図るため、牧場の跡地を有効活用するとともに、預託事業運営の効率化を図る。

３　跡地活用に当たっての基本的な考え方

公募により選定した民間事業者へ土地の有償貸し付けを行い、以下の 3 点のもと観光拠点として整備する。

（１）預託事業の継続と利用者の継承により、円滑な移行を図る。
（２）市内農産物の地産地消を推進し、地域経済・農業の活性化を図る。
（３）千葉市への興味・関心度を高め、市のブランド力を向上させることで観光誘客を図る。

４　スケジュール（予定）

令和元年	７月１日～	事業者の公募開始
	９月	事業者の決定、基本協定の締結
令和２年３月末		牧場廃止
	４月	既存施設解体工事着手
	１０月	新築工事着手
令和３年	４月	オープン

千葉市

記者発表資料

千葉開府 Road to 900 since 1126
令和元年７月１日
経済農政局農政部
農政センター
農業生産振興課
電話　２２８－６２７６

乳牛育成牧場跡地整備事業の企画提案（プロポーザル）募集を開始します
～民間活力を導入し、千葉市グリーンツーリズムの「核」となる施設を整備します～

千葉市では、市内陸部の諸資源を活かした、観光誘客によるにぎわいを創出するため、民間事業者から乳牛育成牧場跡地整備事業の提案募集を開始しますので、お知らせします。

１　趣旨

市内陸部の状況を鑑み、訴求力の高いコンテンツを創出するとともに、市が保有する資産を有効活用する観点から、公の施設である乳牛育成牧場を廃止し、その跡地を本市グリーンツーリズムの集客の核となる施設とするため、豊富な実績を有する民間事業者の資金、経営能力、及び技術力を活用した実現可能な事業計画を募り、選定する。

２　募集内容

（１）募集内容

乳牛育成牧場跡地において民間事業者が行う、集客施設及び預託事業関連施設整備・運営事業

（２）対象地域

千葉市若葉区富田町９８３番地１

（３）規模

１０ｈａ程度（公簿面積：約６ｈａ、実測面積については測量中）

（４）選定した事業に対する市の支援内容

ア　乳牛育成牧場跡地整備事業に必要な基礎インフラを整備するための負担金を交付する。

（ア）　既存施設の解体除却に係る費用

（イ）　井戸設置の際のろ過装置、滅菌器

※負担金は、令和元年第２回定例会一般会計補正予算（議案第８５号）に基づき交付するが、実際に負担した費用について、市が直接整備を行った場合に算出される額に基づき支払額を決定する。また、予算額を交付限度額とする。

イ　その他、施設整備・商品開発等費用の一部について市が負担するという提案を可能とする。

（５）審査・選定方法

プロポーザル方式で、外部有識者による書面審査・意見聴取実施後、市（内部審査委員会）において審査を実施し、支援の対象となる事業を１件選定する。

（６）その他の条件（主なもの）

ア　整備に必要な各種許認可等の取得が見込まれること

イ　地域の酪農振興のため、預託事業を牧場跡地にて実施すること

ウ　過去１０年間に観光事業及び酪農事業の実績を有すること（共同企業体として満たす場合も可）

（７）詳細は市ホームページ参照

ＵＲＬ　http://www.city.chiba.jp/keizainosei/nosei/center/seisanshinko/bokujo_atochi_koubo.html

３　募集期間

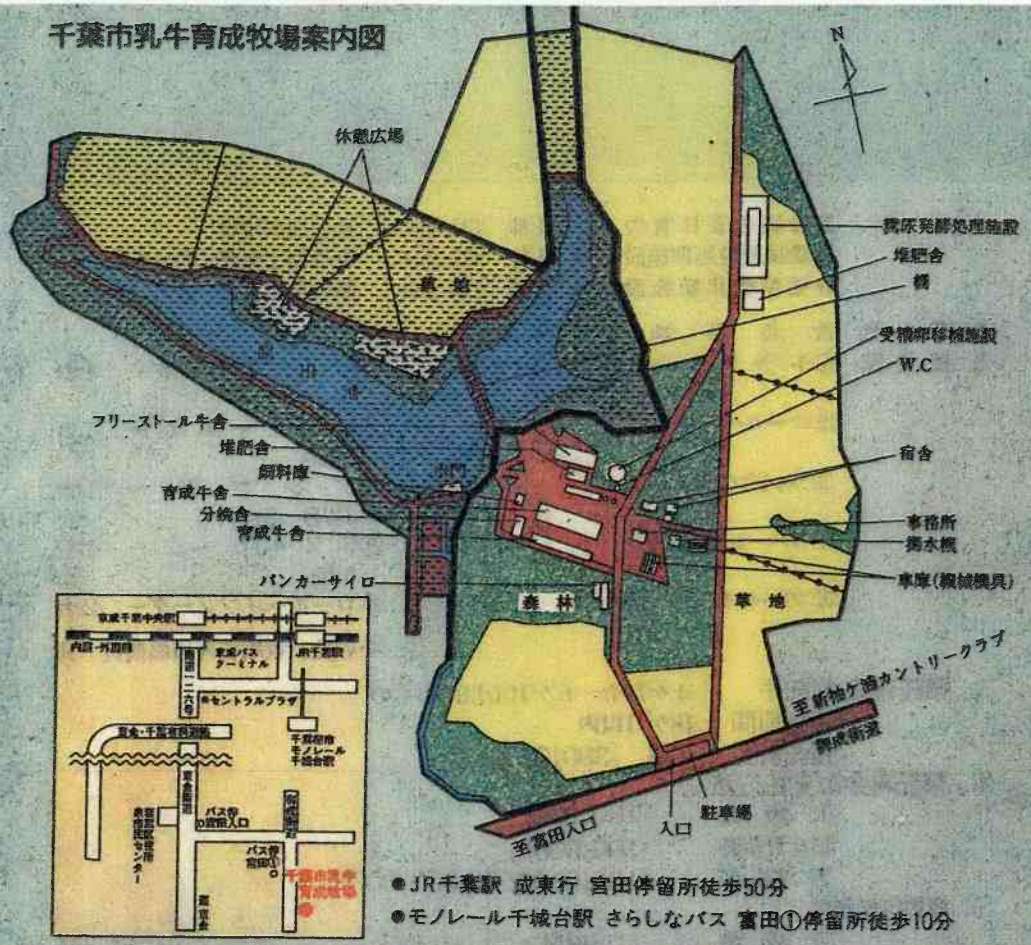
令和元年７月１日（月）～８月２０日（火）

（プレエントリー期間　令和元年７月１日（月）～７月１２日（金））

４　今後のスケジュール

令和元年８月２９日（木）	市による審査（事業者によるプレゼンテーション）
９月３０日（月）	選定した事業者との協定締結（予定）
令和２年２月	令和２年度当初予算にて所要予算の計上
４月～	解体工事・整備期間（整備後、速やかに新施設の供用開始）

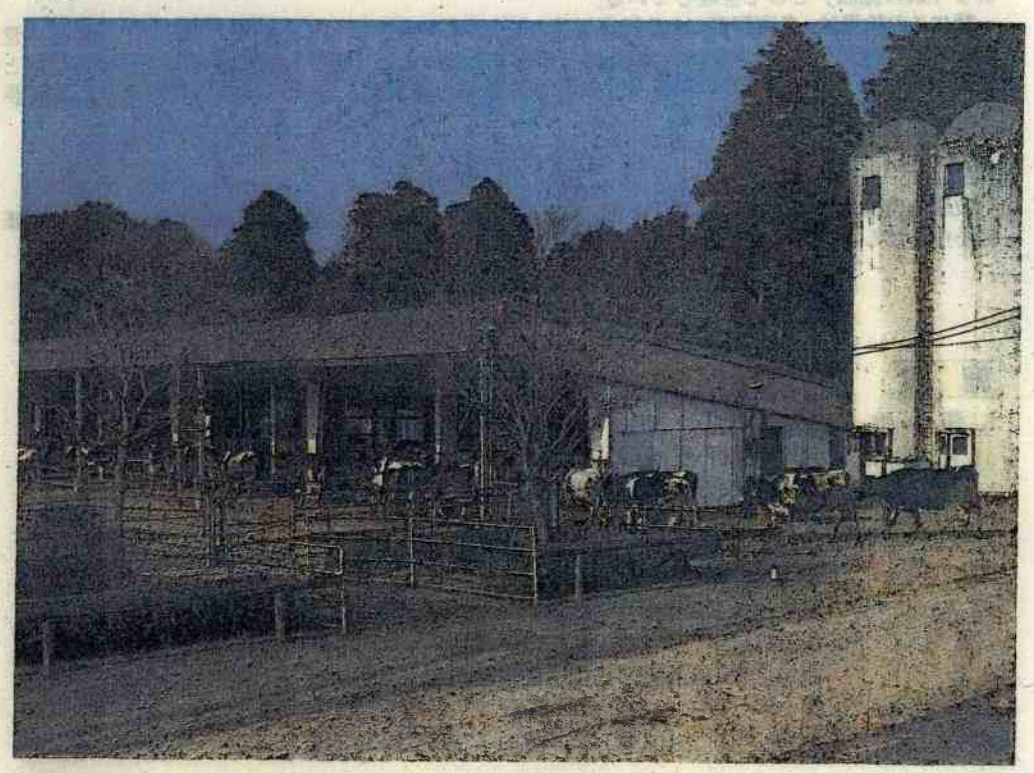
千葉市乳牛育成牧場案内図



●JR千葉駅 成東行 宮田停留所徒歩50分

●モノレール千城台駅 さらしなバス 富田①停留所徒歩10分

千葉市乳牛育成牧場



CHIBA

千葉市乳牛育成牧場

〒265-0041 千葉市若葉区富田町９８３－１

TEL　０４３(２２８)０１７５

千葉市農政センター

農業生産振興課

〒265-0053 千葉市若葉区野呂町７１４－３

TEL　０４３(２２８)６２８２

千葉市乳牛育成牧場の概要

目的

この牧場は緑地対策と公園化および酪農の健全なる発展を目指し、乳牛資源の確保と酪農経営の合理化を図るため、市が市内生産の乳用雌子牛を育成飼養する施設を設置し、これを酪農者の共同利用に供する目的をもって、昭和41年度より造成したもので、地方自治法第244条の規定による「公の施設」として管理している。

特にこの牧場は、多頭飼育による経営規模の拡大に伴う乳牛資源需要の増大に対応し、酪農経営の総合的な振興を図ると同時に一般住民の利用する施設として設置したもので家畜の改良増殖と放牧飼育による健全育成された長もちのする後継牛を確保し、住民の休養する場所として提供することが最終的な目的である。

位置

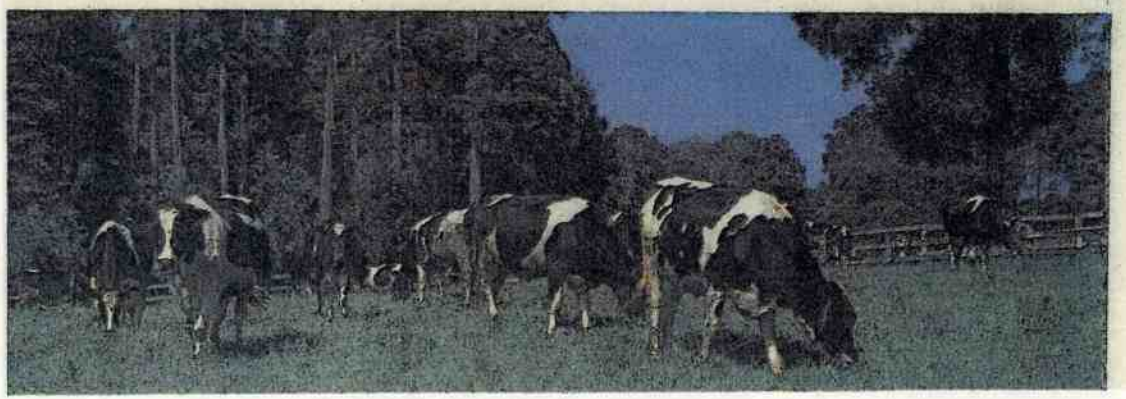
牧場の位置は市街地の中心より東方に12㎞に位置し、旧泉地区(昭和38年度合併)の一角で原田池を中心とした丘陵地で周囲は純農村地域である。

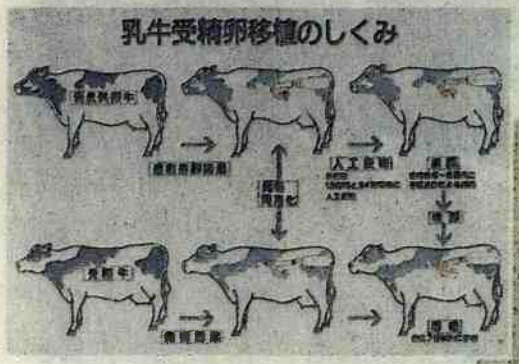
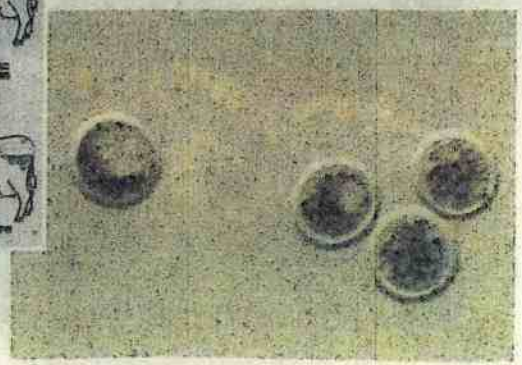
総面積	60,299.57㎡ (公簿面積)
草地面積	52,000㎡

施設

1. 建物
   - ①管理人宿舎　2棟　109.6㎡(41.7㎡、67.9㎡)　木造平屋建
   - ②管理事務所　1棟　92.7㎡
     壁式コンクリート造り平屋建その他附帯施設含む。
   - ③育成牛舎　2棟　918.0㎡(486㎡、432㎡)
     鉄骨造り平屋建その他附帯施設含む。
   - ④成牛舎　1棟　322.6㎡
     フリーストール牛舎 アブレスト型パーラーその他附帯施設含む。
   - ⑤農機具倉庫　2棟　173.75㎡(96.0㎡、77.75㎡)
     軽量鉄骨造平屋建その他附帯施設含む。
   - ⑥堆肥舎　2棟　201.37㎡　木造平屋建
   - ⑦飼料倉庫　1棟　72.0㎡　鉄骨造平屋建
   - ⑧分娩含兼ほ育舎　1棟　131.7㎡　鉄骨造平屋建
   - ⑨糞尿発酵処理施設　1棟　475.0㎡　鉄骨造平屋建(アーチ型)
   - ⑩受精卵移植施設　1棟　115.3㎡　鉄骨造平屋建
2. 草地　改良草地　8,200㎡
3. 農機具
   - ①トラクター　1台
   - ②ロールベーラー　1台
   - ③ラッピングマシーン　1台
   - ④リバーシブルプラウ　1台
   - ⑤フレールモアコンディショナー　1台
   - ⑥マニュアスプレッダー　1台
   - ⑦バキュームカー　1台　1.8㎥
   - ⑧ダンプカー　1台　4WD　2t
   - ⑨ホイルローダー　1台　0.5㎥
   - ⑩ロールヘイフィーダー　2台

   その他、牧場管理用農機具一式
4. 預託育成
   - 預託牛　4ケ月令～6ケ月令以内のもの
   - 預託期間　18ケ月以内
   - 預託料金　1頭　300,000円
5. 預託料金の支払方法
   - 入牧時　100,000円
   - 15ケ月令時　100,000円
   - 下牧時　100,000円　計 300,000円
6. 収容可能頭数
   - 育成牛　104頭
   - 成牛　30頭　計 134頭





受精卵